インフラ整備70年 講演会（第70回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

横浜港・開港から未来へ

～経済成長を支え日本の港湾をリードする港～

＜講演プログラム＞

1. 横浜港の歩み
2. 横浜港のシンボル大桟橋の建設史
3. 民間主導の挑戦
   ―京浜臨海工業地帯の誕生―
4. 港湾物流のコンテナ化と横浜の街づくり
5. 世界に選ばれる横浜港へ
   ―国際コンテナ戦略港湾の競争力強化―

＜講演者＞

梅山 和成　元国土交通省中部地方整備局長
金近 忠彦　元（公財）帆船日本丸記念財団 会長/元横浜市港湾局長
秋山 優樹　東亜建設工業（株）社友/元会長
中野 裕也　横浜交通開発（株）代表取締役社長/元横浜市港湾局長
岸本　治　国土交通省関東地方整備局港湾空港部 計画企画官

2026年 7月28日（火）

講演会：15:00～17:00

写真提供：横浜市

場所：（一社）建設コンサルタンツ協会7階会議室（会場・WEBのハイブリット形式）

定員：会場 80名　WEB 1000名

横浜港は、開国に伴い1859年に小さな漁村にすぎなかった横浜村に誕生した。明治時代には、生糸の輸出等で日本最大の港に発展し日本の近代化・国際化をリード、また大桟橋等の本格的な築港工事が始まった。大正時代には、日本が重化学業化を目指すなか、浅野総一郎が鶴見・川崎に民間による日本初の工業港の整備を行い、京浜臨海工業地帯の始まりとなった。また、横浜港は、関東大震災による危機を官民の努力で乗り越え、復興・拡大した。

戦後は国際港湾として高度経済成長を支え、1970年代以降は急速なコンテナ化に対応して本牧、大黒ふ頭の整備を進めた。現在はアジア主要港の台頭の中、基幹航路の維持拡大に向けて南本牧、新本牧ふ頭整備等の国際コンテナ戦略港湾政策が進められている。

本講演では、開港以来経済成長を支え日本の港湾をリードしてきた横浜港の役割と将来像を描き出すため、横浜港の歩みを概観するとともに、横浜港のシンボル大桟橋の建設史、民間主導の挑戦―京浜臨海工業地帯の誕生、港湾物流のコンテナ化と横浜のまちづくり、国際コンテナ戦略港湾政策の推進　について講演する。

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております）

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会　　後援：（公社）土木学会

インフラ整備70年講演会（第70回）
横浜港・開港から未来へ
～経済成長を支え日本の港湾をリードする港～

《講演者略歴》
梅山 和成　元国土交通省中部地方整備局長
金近 忠彦　元(公財)帆船日本丸記念財団 会長/元横浜市港湾局長
秋山 優樹　東亜建設工業(株)社友/元会長
中野 裕也　横浜交通開発(株)代表取締役社長/元横浜市港湾局長
岸本　治　国土交通省関東地方整備局港湾空港部 計画企画官

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 講演会（会場・WEBともに無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/）よりお願いします。

【注意事項】
- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

＜WEB配信について＞
- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させて頂きます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先　E-mail：infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期で　あり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるといって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、　（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

＜次回講演会予定＞ 第71回講演会　2026年10月2日(金)　会場；建設コンサルタンツ協会7階会議室

テーマ：北陸自動車道の建設
～フォッサマグナを貫き、古代からの交通の難所に高速交通時代の幕を開ける～

講演者：栗原　則夫　元日本道路公団新潟建設局糸魚川工事事務所長
長尾　哲　元日本道路公団新潟建設局工務課長
青山　實伸　元日本道路公団新潟建設局糸魚川工事事務所工事長
三浦　克　元日本道路公団新潟建設局糸魚川工事事務所工事長
大窪　克己　元日本道路公団新潟建設局技術第一課課長代理
長谷川英介　中日本高速道路㈱執行役員 金沢支社長
亀山　碩寛　元(株)白石外波高架橋下部工工事事務所所長
福田　博之　元鹿島建設(株)親不知トンネル事務所

コーディネーター：鈴木辰夫　鉄建建設㈱上席顧問

*WEBによるライブ配信のみにて行う予定です